

議員とホンネトーク報告書

東部コミセン

開催日時	令和8年7月25日 19時から20時30分まで			
開催場所	東部コミュニティセンター			
参加人数	15人			
班構成	岡田 千賀子 木村 晴恵 奥田 俊則 大北 良子 小原 健一 細田 武男			
役割分担	代表者	岡田 千賀子	司会進行者	木村 晴恵
	報告者	奥田 俊則	記録者	細田 武男
報告内容	議員報酬のあり方等検討特別委員会報告			
質疑	(質疑)		(答弁)	
	Q 多様な人材とは。		A 例えば子育て中の議員など。	
	Q 現状の報酬以上の仕事をしているか。		A している。	
	Q 議員は専業か兼業か。		A 専業もいれば兼業もいる。	
	Q 報酬アップは良いが、他町との差が開きすぎるのでは。		A 全国的な動きとして報酬アップの検討をはじめている。	
	Q 県下の他市町との比較で報酬に差があるが、具体的に何が違うのか。		A 町域や人口など。また、地域によっては兼業が当たり前となっているなど。	
	Q 明石市の方が報酬が高いのに、移りたいとは思えないのか。		A 地元播磨町のために議員になっているので、そもそも考えたことは無い。	
	Q 平成11年以来、報酬の見直しが無かったのは何故か。		A 平成23年の定数減の時にも話は挙がったが、現在の全国的な成り手不足などの理由が無かった(定数と報酬は別の考え方)。	

議員とホンネトーク報告書

東部コミセン

意見・提言等	・議員報酬に見合う仕事をするのであれば報酬を上げるのは問題ない ・現状、仕事に見合わない報酬であるなら是正されるべき ・次世代の事も考えるなら労力に見合った報酬を ・議員も生活があるので今後の事情も鑑みて報酬を上げるべき ・報酬アップの必要があるが、議員の活動の見える化も必要。 ・住民と共に活動する姿が見えれば良い。可視化 ・周辺の自治体と比較すると低いと思う ・今の報酬では専業で議員をするのは大変。 ・日数換算での実際の仕事は意外と少ない ・町民からの声をもっと吸い上げてもらいたい。 ・議員の質を上げることが必要。ピント外れの一般質問をする議員がいる。 ・議員らしからぬ服装・態度の方が居た。そういう方が足を引っ張っていると思う。そういう方ばかりでない事は分かってますが。
--------	--

議員とホンネトーク報告書

開催日時	令和8年7月26日 19時00分から20時30分まで			
開催場所	野添コミュニティセンター			
参加人数	3人			
班構成	大瀧 金三 奥田 俊則 小原 健一 河野 照代 細田 武男 浅原 俊也			
役割分担	代表者	河野 照代	司会進行者	大瀧 金三
	報告者	細田 武男	記録者	浅原 俊也
報告内容	議員報酬のあり方等検討特別委員会報告			
質 疑	(質疑)		(答弁)	
	Q 議員の収入が低いことは分かったが、その安い中でどうして議員になろうと思ったのか、またどうして議員を続けているのか各々教えて欲しい。		A 出席議員、各々回答する。	
	Q 播磨町はあまり裕福ではない町と聞いているが、議員報酬が上がった場合その予算はどこから回ってくるのか。そのことで私たちの税金は上がるのか。		A 決まった収入の中でやり繰りするので、皆さんの税金が上がることはない。	
	Q 議員報酬だけで生活していくのは厳しいし、選挙にお金もかかるので報酬アップは賛成であるが、財源の問題もあるので議員定数をたとえば2名減らして増額するといった考えはないのか。		A 今回は定数削減については考えていない。	
	Q 多様な人材、多様な意見が必要と言っているが、若い人の意見をどのように聞いているのか、また聞こうとしているのか。		A 高校生との意見交換会等を毎年実施している。今後もこのような機会を増やしていきたい。	

意見・提言等	・報酬を10万円程度アップした場合における、町予算の影響に係る資料があればより分かりやすいと思う。 ・議員報酬の金額は知らなかったのですが、今日の説明を聞いて正直安いと思った。上げるのに反対ではない。 ・報酬が上がれば、単に就職活動で議員になろうとする人が増える懸念があると思う。 ・若い人が議員になりたいと思わないのは、報酬が安いだけなのか、議員に関心がないからではないのか。播磨町議会を魅力的にする努力が必要ではないか。 ・少人数でお茶を飲みながら議員と話ができるような機会があれば良い。 ・議員活動以外で、もっと町に出て声を聞き動く人材が必要では。 ・議員の行動力の見える化が必要ではないか。
--------	---

議員とホンネトーク報告書

開催日時	令和8年8月1日 19時00分から20時35分まで			
開催場所	南部コミュニティセンター			
参加人数	10人			
班構成	岡田 千賀子 神吉 史久 板谷 良祐 竹内 基就 宮宅 良 木村 晴恵 河野 照代			
役割分担	代表者	岡田 千賀子	司会進行者	板谷 良祐
	報告者	神吉 史久	記録者	竹内 基就
報告内容	議員報酬のあり方等検討特別委員会報告			
質 疑	(質疑)		(答弁)	
	Q 政務活動費の返還が多くないか。		A 使い切りたいが規則が多い。ルールを守りつつ使い切りを目指したい。	
	Q 議員報酬の予算は県や国からだと思うが、今後県の財政状況によりしわ寄せはこないのか。		A 国からの交付金は人口比で一定額は状況に関係なく入るので、報酬増でも困る状況にはなりにくい。	
	Q 前回議員定数を減らしたときにかなりのお金が浮いたと思うが、なぜ報酬の話は出なかった。		A 定数を減らしたときは職員の採用も減らし、町長の報酬もカットするなど報酬増は難しい時期だった。	
	Q 26年間も議論が無かったのになぜ今。		A 議員の報酬は低くても良いという認識だったが、無投票増加などもあり、全国的にこの数年で見直しが進んできた。	
	Q 報酬はどう改正するのか。		A 町長の給与の47%との考えもあるが、本町議会では活動量と照らし合わせて調査している。	

意見・提言 等	● 各議員の活動量が見えない、各町内の見回りなどが大切 ● 配布された資料はもっと多くの人に示しても良いと思う ● 町の広報に取り上げては ● 予算が分かりにくい、もう少しわかりやすく教えて欲しい ● 報酬は活動量とのバランスを
------------	--

議員とホンネトーク報告書

開催日時	令和8年8月2日 19時00分から20時30分まで			
開催場所	西部コミュニティセンター			
参加人数	11人			
班構成	河野 照代 浅原 俊也 板谷 良祐 大北 良子 大瀧 金三 神吉 史久 竹内 基就 宮宅 良			
役割分担	代表者	河野 照代	司会進行者	大北 良子
	報告者	板谷 良祐	記録者	宮宅 良
報告内容	議員報酬のあり方等検討特別委員会報告			
質疑	(質疑)		(答弁)	
	Q 播磨町議会の活動量(1年換算)は106日とあるが、他市町との比較はできないのか。		A それぞれの議会によって活動量の調整方法が違うので単純に比較するのは難しい。	
	Q 政務活動費で会派ごとの報告会は開いていないのか。		A 報告会は開催していない。	
	Q いつ頃から報酬の議論をしているのか。		A 昨年から議論を進めている。	
	Q 議員同士で勉強会を行っているのか。		A 議会の仕組み、財政、予算決算や議案など、議員間や会派間で行っている。	
	Q 町民との対話時間は月何時間ぐらいなのか。		A 対話時間は相談内容により違ってくるので、一概には言えない。	
意見・提言等	・若い人が議員になるには生計を立てられるだけの報酬がないと難しい ・町職員の給与も低すぎる ・報酬額は議員の年齢も考慮する必要があると思う ・活動内容が見えない ・議員報酬を上げていい ・政務活動費を上げることに賛成 ・活動量の個人調査の実施 ・議員活動に自治会長の活動も含める方がいい(議員が自治会長の場合) ・政務活動費の活用で活動することを検討			